

生駒市eco補助金

eco補助金をうまく使ってエコライフをはじめましょう!

太陽光発電システム

太陽光エネルギーを電気に変換します。



- CO2などの温室効果ガス発生ゼロ
- 余った電気を売電

住宅用エネルギー管理システム HEMS

電気の使用を「見える化」し、エネルギーを管理します。



- 省エネ意識の向上
- 家電の自動制御による節電

V2Hシステム

V2H(ビークル・トゥ・ホーム)システムは、電気自動車の大容量バッテリーから家庭に電気を供給する仕組みです。



- 電気代の節約
- 停電時の電力源

家庭用燃料電池 エネファーム

ガス中の水素を利用して発電し、その時に発生する熱でお湯を沸かすことができます。



- 高いエネルギー効率で省エネ
- 災害時の電力源

家庭用蓄電システム

電気を貯めておき、夜間や停電時など必要に応じて効率よく利用できます。



- 再エネの有効利用
- 一時的な停電の備え

環境にも家計にもやさしい! 創エネ・省エネシステム

創エネ・省エネシステムを導入した家庭では、生駒市の平均的な家庭と比べて…

環境に
やさしい

二酸化炭素排出量
年間約**2.6**トン
約**75%**削減!

杉の木
約185本分!

家計に
やさしい

光熱費
年間約**9.6**万円
約**38%**削減!

発電して余った
電気を売れば
もっと節約に!

※太陽光発電システムや燃料電池、HEMSなどの省エネ・創エネ設備が全戸標準装備されている、生駒市内の住宅街でのエネルギー使用状況調査結果に基づく本市試算です。

補助金の対象システム

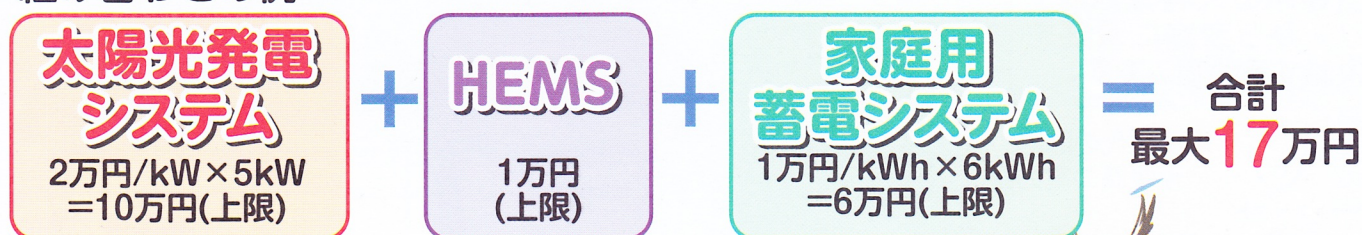
	太陽光発電システム	エネファーム	HEMS	蓄電システム	V2H システム
補助額	太陽電池の公称最大出力1kWあたり 2万円 (上限10万円)	1件あたり 7万円	1件あたり 上限 1万円	蓄電容量1kWhあたり 1万円 (上限6万円)	1件あたり 5万円
対象システム (※1)	●太陽電池の最大出力が2kW以上10kW未満 ●電力会社との電力受給開始日が平成30年3月1日以降など	●国の補助(※2)対象システム ●国の補助金額の確定通知日が平成30年3月1日以降など	●ECHONET Lite規格を標準インターフェイスに搭載しているもの ●設置日が平成30年4月1日以降など	●蓄電容量1.0kWh以上 ●設置日が平成30年4月1日以降など	●電気自動車などの蓄電池から電力を取り出し、分電盤を通じて住宅の電力として使用するために必要な機能を有すること ●設置日が平成30年4月1日以降など

(※1)全システム、未使用であることが条件です。

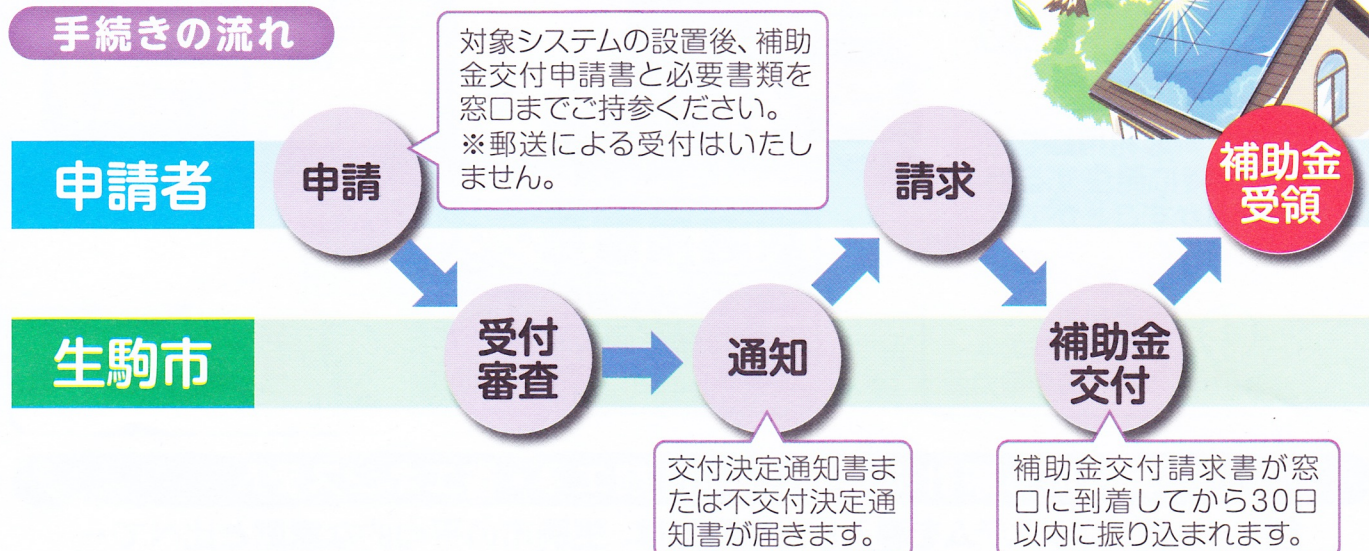
(※2)国のエネファームの補助金に申請することが条件となります。詳しくは一般社団法人燃料電池普及促進協会(FCA)にお問い合わせください。

組み合わせて申請することもできます

組み合わせの例



手続きの流れ



受付は先着順!
予算額に到達次第
終了します!

ご相談・お問い合わせはお早めに!

受付期間 平成30年5月15日(火)～平成31年3月29日(金)
受付時間 AM8:30～PM5:15(土・日・祝日・年末年始は除く)

〈問い合わせ先〉

生駒市役所 環境モデル都市推進課(2階22番窓口)
〒630-0288 生駒市東新町8-38

TEL 0743-74-1111 (内線376)

生駒市ホームページで交付要綱等の補助金に関する詳しい情報を公開しています。様式などのダウンロードも可能です。

<http://www.city.ikoma.lg.jp/>